

精神看護学特論

[講義] 1年 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○八木こずえ [co-yagi@hoku-iryo-u.ac.jp]
 佐々木敏明 (非) [toshiaki-s@hoku-iryo-u.ac.jp]
 宮地普子 [miyajih@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

精神保健医療福祉の歴史や法制度や体制の変遷、国際的動向を踏まえ、日本の現状の課題の理解を通して、今後の看護職の役割を展望する。

【学修目標】

1. 精神障害者がおかれている社会の現状を、精神医療の歴史の変遷や変化する社会構造と関連させ、広い視野で捉え直し看護の役割を展望する。
2. 歴史の変遷から見た精神障害者の生きにくさについての理解を深め、倫理的課題や権利擁護について考察する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	精神医療福祉の歴史の変遷 1) 精神医学の発起源	「逸脱」を基準とする精神医学の発起源と社会文化的側面について学ぶ	八木
2	2) 収容の時代のはじまりと功罪	収容の時代から精神病、神経症概念の確立の時代、社会背景や処遇を学ぶ	八木
3	3) 精神病理学の成立と世界の診断治療の動向	精神病理学の成立過程と診断と治療の哲学、戦後の精神医療の動向を学ぶ	八木
4	4) 日本の精神医療の歴史と処遇	日本の精神病理学の歴史と現状、精神障害者への処遇について学ぶ	八木
5 5 6	5) 人権とスティグマ	精神障害者の人権とスティグマ、不祥事の歴史から倫理的課題を学ぶ	宮地
7	6) リカバリー概念の意義と展望	リカバリー概念の意義を学び、今後の展望と看護師の役割を考察する	宮地
8	我が国の法制度と変遷 1) 障害福祉の基本概念としくみ	障害福祉の基本概念や枠組み、総合支援法などの法制度と変遷を学ぶ	佐々木
9	2) 地域生活に関する制度と課題	精神障害者の地域生活に関する制度と背景、課題について学ぶ	佐々木
10	3) 就労支援に関する制度と課題	精神障害者の就労支援に関する制度と現状や背景、課題について学ぶ	佐々木
11	学校保健に関する制度と課題	学校保健に関する法制度と現状、背景や課題について学ぶ	佐々木
12	諸外国における精神障害者への処遇や法制度 1) 先進諸外国の現状と文化的背景	精神障害の捉え方や診断治療、処遇における相違点 (イギリス・イタリア・アメリカなど) について文化的差異を含めて学ぶ	佐々木
13	2) 変化の契機やしくみ	先進諸国の変化をもたらした契機やしくみ (イギリス・イタリア・アメリカなど) について学び、我が国が参考にできる点や今後のあり方を展望する	佐々木
14 15	レポートのプレゼンテーションと議論	精神医療福祉の歴史や現状から課題をまとめ、看護者としての今後の役割について自分の考えを明確化する。	八木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

プレゼンテーション（30％）、討議への参加（30％）、課題レポート（40％）で評価する。

【教科書】

指定しない。適宜資料を配布する。

【参考書】

1. 松本雅彦：精神病理学とは何だろうか、星和書店、1996.
 2. アーヴィングゴッフマン：スティグマの社会学?烙印を押されたアイデンティティ,せりか書房,2001.
 3. 浅野弘毅：精神医療論争史、批評社、2000.
 4. マーク・レーガン：前田ケア監訳：ビレッジから学ぶリカバリーへの道.金剛出版、2005.
 5. 松嶋健：プシコ ナウティカ：イタリア精神医療の人類学.東京：世界思想社,2014.
- その他随時提示する。

【学修の準備】

学習の準備として、参考書の1、3については学習課題の該当箇所の自己学習を行う。参考書以外にも学習課題に関する文献を自主的に探して読み制度やその背景を理解する。講義後には講義や討議を通して学んだ内容と自分の看護経験を踏まえて、精神医療福祉における現状の課題を明確化し、看護が果たしていく役割についてレポートにまとめる。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

八木こずえ（看護師・精神看護専門看護師）
佐々木敏明（精神保健福祉士）
宮地普子（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

教員それぞれの実践経験と教育の実務・研究の反映した講義内容となっている。